

HCL information

細菌学検査報告書 変更のご案内

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。
この度、細菌学検査報告書に関しまして、システム変更
に伴い、内容変更がございますので、ご案内申し上げます。
何卒ご了承賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

- 変更実施日 : 2019年 9月 24日(火) 報告分より順次実施
- 変更内容 : 下記・裏面参照
- 一般細菌 塗抹検査(グラム染色)の変更内容
 - ・検査材料-喀痰の報告内容に、上皮細胞数を追加させていただきます。
 - ・表記を検出菌のみに変更、また貪食像が見られた場合は追加表記致します。
 - 菌が検出されない場合は、「細菌認めず」と表記させていただきます。
- 一般細菌 培養同定検査の変更内容
 - ・口腔・気道・呼吸器の材料について、常在菌は菌種名で報告しておりましたが、まとめて「Normal flora(常在菌)」として報告させていただきます。
 - ・定量培養は菌種ごとの報告から、検体に対しての報告に変更させていただきます。
 - ・培養の目的菌・検出菌は新たに欄を設け、個々の表記とさせていただきます。
 - ・便培養について、大腸菌血清型による病原性大腸菌を報告しておりましたが、ベロ毒素を産生する出血性大腸菌の報告のみに変更させていただきます。
- 一般細菌 薬剤感受性の変更内容
 - ・薬剤系統名・薬剤名を表記しておりましたが、薬剤名のみ報告とさせていただきます。
 - ・結果は以前の報告に加え、MIC報告も併記し報告させていただきます。
 - ・肺炎球菌はペニシリン(PCG)濃度により、PSSP・PISP・PRSPと報告しておりますが、CLSI基準に従い、髄液・血液とそれ以外の材料で判断基準を変更してご報告いたします。
 - ・常在菌のみの検出時は、感受性のご依頼がある場合も感受性検査を取り消しさせていただきます。

●新細菌学検査報告書 変更内容 (図)

■■■最終■■■		細菌学検査報告書					
SPNo. 899999 病院名 兵庫県臨床検査研究所		殿 カルテ No. 1234567					
被検者名 ○○○○		殿 男 81 才 保険					
入院 3A 科目 内科一診		妊娠 週Dr.					
採取日 2019 年 07 月 16 日		実施点数合計 501 点 判断料 ⑥					
受付日 2019 年 07 月 16 日 報告日 2019 年 07 月 19 日		20190716 - 0001					
検査材料 喀痰							
目的・検出菌	MRSA	(+) カンジダ	(-) 緑膿菌 (-)				
細菌鏡検(グラム染色)	61 点	貪食	その他				
グラム陽性球菌	(3+)	有	喀痰量 1.2mL				
グラム陽性桿菌	(1+)		ミラージュ分類 P2 膿性部分が1~2/3の痰				
グラム陰性球菌	(1+)						
白血球	(3+)						
扁平上皮	(1+)						
定量培養	CFU/mL	ゲックラー: 5					
細菌培養・同定 呼吸器系 160 点		菌量	コメント				
① メチリン耐性黄色ブドウ球菌 S.aureus *MRSA		(3+)					
② ペニシリン感受性肺炎球菌(PSSP) S.pneumoniae(PSSP)		(2+)					
③ β ストレプトコッカス(GBS) S. agalactiae		(2+)					
口腔常在菌 Normal flora		(3+)					
薬剤感受性検査(判定①~③は同定菌に対応) S: 感受性 I: 中間 R: 耐性 3菌種 280 点							
(薬剤名)	①	②	③	(薬剤名)	①	②	③
ABPC	>8 R	=2 S	S	PZFX	R	S	S
PCG	>8 R	=1 S	S	VCM	=1 S	<=1 S	S
CEZ	=8 R	S	S	TEIC	<=2 S	S	S
CTR	=4 R	<=0.2 S	S	FOM	<=4 S	>32 R	S
CAZ	R	S	S	ST	<=0.5 S	=40 I	R
CFPM	>16 R	<=0.5 S	S	LZD	=2 S	S	S
A/C	>4 R	<=2 S	S	RFP	<=0.5 S	S	S
IPM	<=1 R	I	S				
MEPM	=4 R	=0.5 I	S				
GM	<=1 S	R	R				
ABK	<=1 S	R	R				
EM	>4 R	>1 R	S				
CLDM	<=0.5 R	>1 R	S				
MINO	=1 S	<=1 S	S				
LVFX	>4 R	<=2 S	S				
コメント 培養結果より菌種変更しました。							
株式会社 兵庫県臨床検査研究所				検査責任者 島田 一彦			

◆ 用語解説 (一部) ◆

貪食像・・・白血球が細菌を捕食している像

貪食がみられた場合は、“有”と報告いたします。原因菌の推定に役立ちます。

MIC・・・最小発育阻止濃度

ディスク法で高感受性を示すいくつかの薬剤のうちでも、MICが判ればMICの体内動態、特に感染部位での薬剤濃度との関係から適正なものを選択することができます。MICを測定した薬剤については、すべての結果に数値とS・I・Rを併記いたします。TDM(治療薬物モニタリング)等をおこなう場合にも有益な情報となり、薬剤選択のポイントとなります。

定量培養・・・1mL中の尿中菌数

尿路感染症の判断基準(ガイドライン)において総菌数が $\geq 10^4$ で考えられています。